

「発達障害の可能性のある児童・生徒への インクルーシブ教育」に関する科目履修について



- 1 **新設科目の目的**：文部科学省では、「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（報告）」において、「インクルーシブ教育システム構築のため、すべての教員は、特別支援教育に関する一定の知識・技能を有していることが求められる。特に、発達障害に関する一定の知識・技能は、発達障害の可能性のある児童生徒の多くが通常の学級在籍していることから必須である。これについては、教員養成段階で身に着けることが適当であるが、現職教員については、研修の受講等により基礎的な知識・技能の向上を図る必要がある。」と述べ、そのために「発達障害に関しては、全ての教員が養成段階で学ぶ仕組み作りが必要である」と指摘しています。この要請に基づき、「発達障害の可能性のある児童生徒に対する早期支援・教職員の専門性向上事業」の一貫として、早稲田大学では下記の科目を開講しています。

授業名	開講期日	内容	担当
指導者養成講座Ⅰ	土曜日集中 5回 6/10～7/8	ソーシャルスキル教育、コンサルテーション、コーチング、ソーシャルワーク、アンガーマネジメント等の演習	SC, SSW、スクールサイコロジス等5名の専門家によるオムニバス
指導者養成講座Ⅱ	夏季集中 3日間 8/30～9/1	1年間に学校内で生じる様々なトラブルを模擬体験しながら、学校現場で具体的な解決案をグループ討議・実演していく。	本田恵子、 鈴木眞理（東京都SC）
家族理解と福祉工学	土曜日集中 5回 10/7～11/11	障害児者の家族支援、発達障害者と少年矯正教育、運動性協調障がいのリハビリ、学習障がいのある児童生徒へのIT活用演習	言語聴覚士、5名の専門家によるオムニバス
インクルーシブ教育における学級経営	土曜日集中 5回 12/2～1/13	Q-Uを活用したインクルーシブ教育実践様々なタイプの学級への指導演習	河村茂雄他、4名の専門家によるオムニバス
特別支援教育におけるIT実践演習A, B	夏季集中 秋学期 火曜日3限	電子黒板、ICTによる協調学習、タブレット端末を用いた教材作成演習、授業演習等	三尾忠男、武沢 護
脳科学を活かしたインクルーシブ教育	秋学期 金曜日1限	脳の認知機能の理解を基に、ユニバーサルデザインの授業を実践するための授業実践、タブレットを活用したワークシートの活用演習	本田恵子
私学における特別支援教育	冬季集中 3日間 12/25～/27	私学に特有の発達障害（博士タイプ）やギフトの理解と対応、学内での支援コーディネータの役割、地域との連携の在り方等	高橋あつ子他、私学で特別支援教育を実践している方のオムニバス
教育リテラシー	秋学期 火曜日4限	現代の教育を取り巻く諸事情を、教育・国語・英語・社会・複合文化・数学のエッセンスへの理解を講義とディスカッションで深める	教育・総合科学学術院各学科から15名の先生方によるオムニバス

- 3 科目についての問い合わせ先 dev-dis-office@list.waseda.jp
- 4 上記の科目については、全学オープン科目になっています。学校教育専攻の選択科目です。
- 5 履修証明書 が 発行されます（その他の証明書同様の発行手数料がかかります。）
- 6 その他：教職課程設置科目「人間理解基盤講座」春学期前半土曜日 5回、
「教育インターンシップ（インクルーシブ教育、特別支援教育）」、年間通じて学校現場で発達障害のある児童生徒への教育インターンシップを行います。